

始良市地域ケア個別会議 モニタリング用紙

モニタリング日時 R3年2月17日 (ケア会議実施日 R2年11月19日)

計画作成者所属計画作成者氏名

【事例の概要】

○対象者情報・認定情報：要支援1 年齢：92歳 性別：男

○生活行為の課題等

脳梗塞発症以前は堤防付近を30分程散歩したり、畑で野菜作りをしたり、グランドゴルフをしたりしていたが、発症に因る入院後から廃用による下肢筋力低下が見られ、できない事が増えた事で意欲の低下に繋がっている。

【ケア会議後の事例の状況】

項目	内容
参考になった意見	意欲の低下はモチベーションの低下が影響している。何をしたいから歩くのか歩く目的等決め、外に出られるようアプローチする必要あり。きっかけ作りが大事。畑作りが無理であればプランターで栽培するなど興味がある事に動機づけをして声掛けしていく。妻の体調に注意し、妻のケアも必要。卵や野菜など栄養面も考え簡単にできる日持ちできるもの等の調理の助言等。
実施状況 (ケアプランに反映させたこと)	テレビ体操は毎日続ける事。まずは庭に出る事、プランターでの野菜の栽培、新聞を取りに行く等声かけ。妻の負担軽減の為に娘によるできる範囲での支援
利用者の反応・変化	妻の腰痛が長引いており、思うように動けない為、新聞を取りに行く、来客時車庫の門を開けに行く事は本人が行うようになった。テレビ体操は妻と一緒にいた事もあり、妻が腰痛でできなくなった為、行う事が少なくなっている。妻の負担軽減の為に娘が鹿児島市内から週2回訪問し、買い物や洗濯等家事支援を受けている。

【事例対象者への支援以外で助言が活かされたこと、取組んだこと】

興味がある事に対する声掛けや、行動をする為の目的意識等聞き取り、声掛けしながら、意欲の向上が図れるよう取り組んでいく事。家族の状態を考慮して家族へのケアを行っていく事が大事であることを日々考えながら対応していくよう心掛けている。

※市担当者記載【地域課題への対応】

地域ケア推進会議への課題として、

- ・高齢の男性が気兼ねなく参加できる地域活動の創出。
- ・口腔ケアの普及啓発

